〈指定生乳生産者団体〉九州生乳販売農業協同組合連合会

九州生乳販連会報

No. 92
November 2025

TOPICS

酪農情勢報告 …… 1
令和8年度季節別乳価について …… 2
令和7年度販売状況について …… 3
令和7年度会員別生乳受託販売数量 …… 4
令和7年度月別受託生乳検査成績 …… 4
令和7年度生乳品質共励会の途中経過について …… 5
指定団体の重要性および取引契約の遵守について …… 6
酪農理解醸成・牛乳消費拡大対策事業 お知らせとご報告 …… 8
新聞広告を掲載しました …… 11
酪農教育ファーム活動について …… 12

酪農情勢報告

1. 九州の生乳出荷戸数

令和7年9月の生乳出荷戸数は938戸で、令和7年3月時点の975戸と比較すると37戸の減少となりました。

2. 九州の乳用種雌牛飼養頭数と出生頭数

7～9月の乳用種雌牛飼養頭数は、23ヵ月令以下、24ヵ月令以上、総頭数のいずれも前年を下回った推移が続いていますが、24ヵ月以上と総頭数については若干前年比の回復が見られています(表1)。

表1　乳用種雌牛飼養頭数　（単位：頭）

		7月	8月	9月
23カ月令以下		23,568	23,123	22,976
	増減	-907	-927	-816
	前年比	96.3%	96.1%	96.6%
24カ月令以上		68,652	68,722	69,070
	増減	-2,244	-2,123	-1,687
	前年比	96.8%	97.0%	97.6%
総頭数		92,220	91,845	92,046
	増減	-3,151	-3,050	-2,503
	前年比	96.7%	96.8%	97.4%

注：Jミルクホームページより

6～8月の出生総頭数は、乳用種雌はほぼ前年並みとなったものの、総頭数・乳用種雄・交雑種は前年を下回りました(表2)。

表2　出生頭数　（単位：頭）

		6月	7月	8月	累計(6-8月)
総頭数		2,333	3,155	4,019	9,507
	増減	-204	-463	-241	-908
	前年比	92.0%	87.2%	94.3%	91.3%
うち、乳用種雌		568	801	1,103	2,472
	増減	9	-33	35	11
	前年比	101.6%	96.0%	103.3%	100.4%
うち、乳用種雄		153	281	400	834
	増減	-25	-40	-16	-81
	前年比	86.0%	87.5%	96.2%	91.1%
うち、交雑種		943	1,389	1,810	4,142
	増減	-150	-286	-122	-558
	前年比	86.3%	82.9%	93.7%	88.1%

注：Jミルクホームページより

3. 生乳需給

(1)生乳受託販売数量

7～9月の生乳受託販売数量は、6月下旬での梅雨明け以降猛烈な暑さの影響を受けて急激な減少があった一方、湿気が少なく朝晩の気温が下がった7月下旬から8月上旬では回復が見られ、その後8月中旬から9月にかけては例年であれば少しずつ回復が見られるタイミングで蒸し暑さがぶり返したことで再び減少に転じ、

表3　生乳受託乳量　（単位：t、%）

		7月	8月	9月	累計(7-9月)
九　州		42,409	41,044	39,292	122,745
	前年比	99.1%	101.1%	98.4%	99.5%
都府県		231,213	222,874	216,217	670,303
	前年比	100.0%	100.9%	99.6%	100.2%
北海道		338,076	336,504	322,038	996,619
	前年比	102.6%	102.6%	101.1%	102.1%
全　国		569,288	559,379	538,255	1,666,922
	前年比	101.5%	102.0%	100.5%	101.3%

注：中央酪農会議　用途別販売実績（速報）より
注：公共除く。ただし、都府県の内訳として中国のみ公共含む。

（2ページへ続く）

期間中合計では前年を0.5%下回りました。また、都府県はほぼ前年並み、北海道は前年を上回った水準での推移となりました(表3)。

(2)生乳販売状況

今年6月までは全国的に飲用需要が停滞していましたが、例年よりも3週間早く6月下旬で梅雨が明け、猛烈な暑さが連日続くようになってからは飲用需要が好転し、8月に飲用等向け乳価の改定に伴う製品価格の改定があってからも堅調な推移を維持した結果、7～9月の飲用向けはほぼ前年並みとなりました。一方、(1)で述べたとおり生乳生産は気温・湿度の影響を受けて例年とは違った推移を見せ、生乳需給は期間中のほとんどが逼迫で推移した中でも短期間では緩和もあり、台風や大雨の影響もあって7、8月は脱脂粉乳・バター等向けが増加しました。

全国の用途別販売は、九州同様に飲用向けがほぼ前年並みとなり、脱脂粉乳・バター等向けは前年を上回りました(表4)。

表4　用途別販売数量　(単位：t、%)

	用途	7月	8月	9月	累計(7-9月)
九州	飲用 (前年比)	30,389 99.2%	28,187 100.2%	29,912 99.5%	88,487 99.6%
	はっ酵乳 (前年比)	7,559 95.8%	7,430 93.5%	6,932 95.6%	21,921 95.0%
	脱脂粉乳・バター等 (前年比)	2,307 110.2%	3,265 139.4%	453 63.2%	6,025 117.0%
	生クリーム (前年比)	2,059 99.1%	2,068 100.2%	1,932 105.5%	6,058 101.4%
	チーズ (前年比)	96 100.3%	95 100.8%	62 65.9%	253 89.0%
全国	飲用 (前年比)	253,268 102.8%	233,928 97.9%	256,143 99.8%	743,338 100.2%
	はっ酵乳 (前年比)	37,385 98.9%	36,410 96.4%	34,055 99.3%	107,850 98.1%
	脱脂粉乳・バター等 (前年比)	135,979 104.3%	145,306 111.8%	111,535 101.6%	392,819 106.1%
	生クリーム (前年比)	108,769 97.3%	109,620 102.4%	106,307 99.7%	324,696 99.8%
	チーズ (前年比)	33,888 98.4%	34,115 97.6%	30,216 107.1%	98,219 100.6%

注：中央酪農会議　用途別販売実績(速報)より

4. 今後の生乳需給について

今夏は、気温や湿度・天気の影響を受けて生乳生産量が例年とは違った推移を見せる中、短期的な需給緩和を挟みつつ、期間の大部分は逼迫した生乳需給が続きました。8月から飲用等向け乳価の値上げとそれに伴う製品価格の改定が実施されましたが、大きな需要の減少は見られず、逆に逼迫した需給状況の中で域内乳業メーカーに対し十分な供給ができない状態が長期間にわたり続きました。なお、10月に入って気温が下がり始め、生乳需給は少しずつ正常化に向かっています。

今後は飲用不需要期に向かう中、価格改定の影響を踏まえた生乳需給の動向等を見極めながら有利販売を進めていくとともに、次年度の需要期を見据えて生乳需給をいかに組み立てていくかも検討する必要があります。不透明な生乳需給が続く中ではありますが、安定的な需給の維持に向け、各取引先乳業者・全国連と協議を行ってまいります。

令和8年度季節別乳価について

令和8年度季節別乳価については、令和7年11月7日開催の第2回生乳受託販売委員会での協議後、同日開催の第9回理事会に附議し、これまでの調整率による調整方法から固定単価による調整方法に変更することとしました。令和8年度の単価は以下のとおりです。

令和8年度季節別調整単価　(単位：円/kg)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
−7.5	−7.5	0	13.0	13.0	18.5	6.5	0	−8.5	−8.5	−8.5	−8.5

季節別乳価は、生産者が需要を意識して生乳生産に取り組むことで、夏場に需要が多い飲用向けへの供給量を増やし、乳価を維持・向上させ、生産者手取り乳価の増加に繋げることを目的としています。

生産者の皆様におかれましては、引き続き、需要期生産に向けた取り組みにご協力いただきますようお願いいたします。

令和7年度販売状況について

用途別生乳販売実績

（単位　数量：t、前年比：%、単価：円/kg）

用途		7月			8月			9月			第2四半期計			年度累計		
		数量	前年比	単価	数量	前年比	単価	数量	前年比	単価	数量	前年比	単価	数量	前年比	単価
飲用等向け	域内飲用向け	25,258	103.7	134.271	25,406	99.9	137.321	23,724	101.0	138.482	74,389	101.5	136.660	143,109	100.6	135.614
	学校給食向け	2,777	100.3		421	128.1		4,177	104.0		7,374	103.7		18,630	101.0	
	域外飲用向け	2,524	67.5		2,524	98.8		2,195	79.8		7,243	80.1		24,996	86.3	
	飲用牛乳等向け計	30,559	99.0		28,351	100.1		30,096	99.5		89,006	99.5		186,735	98.4	
	はっ酵乳等向け	7,559	95.8		7,430	93.5		6,932	95.6		21,921	95.0		43,410	96.5	
	飲用等向け合計	38,118	98.4		35,781	98.6		37,028	98.7		110,927	98.6		230,145	98.1	
特定乳製品向け	脱脂粉乳・バター等向け	2,335	109.5	101.085	3,304	138.1	100.011	461	62.0	108.374	6,099	115.8	102.060	22,434	103.6	96.481
	クリーム等向け	2,077	98.6		2,081	99.8		1,951	105.2		6,109	101.1		12,877	100.2	
	チーズ向け	96	100.3		95	100.8		62	65.9		253	89.0		497	89.4	
	特定乳製品向け計	4,507	104.0		5,480	119.9		2,475	91.9		12,462	107.5		35,807	102.1	
販売乳量合計		42,626	98.9	130.762	41,260	101.0	132.366	39,503	98.3	136.596	123,389	99.4	133.166	265,952	98.6	130.345

支払乳代

（単位　金額：千円、単価：円/kg）

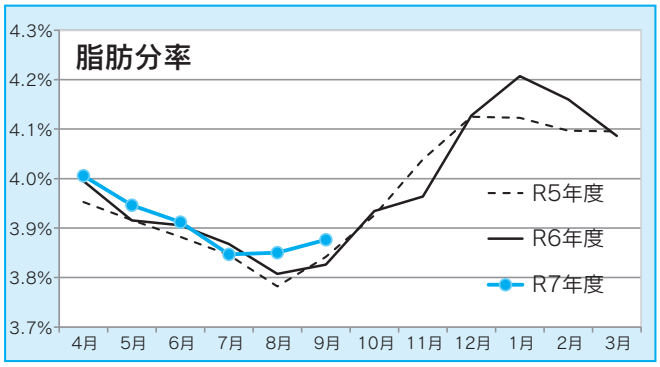
項目	7月		8月		9月		第2四半期計		年度累計	
	金額	単価	金額	単価	金額	単価	金額	単価	金額	単価
基本乳代①	5,573,787	130.762	5,461,479	132.366	5,395,942	136.596	16,431,208	133.166	34,665,513	130.345
脂肪分加算金	28,391	0.666	28,577	0.693	27,830	0.704	84,798	0.687	208,644	0.785
無脂固形分加算金	38,393	0.901	36,491	0.884	35,567	0.900	110,451	0.895	267,771	1.007
成分加算金計②	66,784	1.567	65,068	1.577	63,397	1.605	195,249	1.582	476,415	1.791
季節別調整率③	110%	–	110%	–	114%	–	–	–	–	–
季節別調整金	557,378	13.076	546,148	13.237	755,432	19.123	1,858,958	15.066	1,117,122	4.200
調整後乳代④＝①×③	6,131,165	143.838	6,007,627	145.603	6,151,374	155.719	18,290,166	148.232	35,782,635	134.545
販売手数料	16,922	0.397	16,580	0.402	16,378	0.415	49,879	0.404	105,426	0.396
生乳検査料	5,115	0.120	4,951	0.120	4,740	0.120	14,807	0.120	31,914	0.120
送乳経費	157,252	3.689	156,805	3.800	146,999	3.721	461,056	3.737	1,040,530	3.912
需要者負担額(運賃補填)	-2,214	-0.052	-1,670	-0.040	-1,848	-0.047	-5,732	-0.046	-13,003	-0.049
CS・冷却費	43,466	1.020	42,283	1.025	40,029	1.013	125,778	1.019	281,736	1.059
集乳経費	116,288	2.728	111,911	2.712	106,919	2.707	335,118	2.716	719,945	2.707
プール費用⑤	336,830	7.902	330,859	8.019	313,217	7.929	980,906	7.950	2,166,548	8.146
差引乳価②＋④－⑤	5,861,120	137.502	5,741,835	139.161	5,901,554	149.395	17,504,509	141.864	34,092,502	128.190

令和7年度会員別生乳受託販売数量

（単位：ｔ、％）

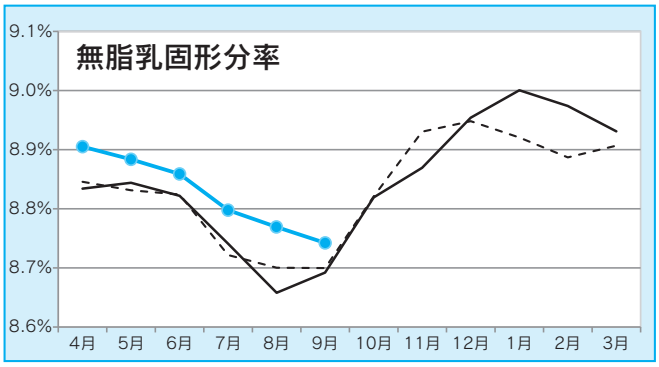
	ふくおか県酪協		佐賀県農協		長崎県酪連		熊本県酪連		大分県酪協		宮崎県農協		鹿児島県酪協		合　計	
	実　績	前年比	実　績	前年比	実　績	前年比	実　績	前年比	実　績	前年比	実　績	前年比	実　績	前年比	実　績	前年比
4-6計	15,152	97.9	3,052	98.0	8,143	97.8	64,939	97.8	17,231	100.0	18,021	97.8	16,025	96.4	142,563	97.9
7月	4,543	98.3	880	97.0	2,351	97.2	19,446	97.8	5,165	101.5	5,436	100.9	4,806	100.6	42,626	98.9
8月	4,440	101.7	853	103.3	2,252	102.6	18,917	100.5	5,069	103.2	5,197	99.7	4,532	100.5	41,260	101.0
9月	4,288	98.9	847	106.2	2,108	97.7	18,135	97.3	4,837	103.0	4,944	97.1	4,343	97.0	39,503	98.3
上期合計	28,423	98.7	5,632	99.8	14,854	98.4	121,437	98.1	32,302	101.2	33,598	98.5	29,707	97.8	265,952	98.6

令和7年度 月別受託生乳検査成績



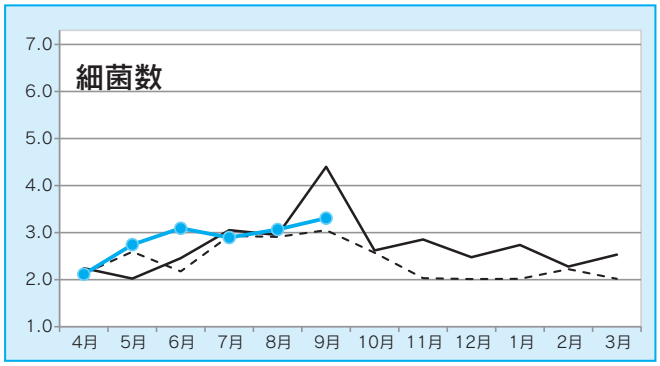
R5年度	3.95	3.92	3.88	3.85	3.78	3.84	3.93	4.04	4.13	4.12	4.10	4.10
R6年度	4.00	3.92	3.91	3.87	3.81	3.83	3.93	3.96	4.13	4.21	4.16	4.09
R7年度	4.01	3.95	3.91	3.85	3.85	3.88						

（単位：％）



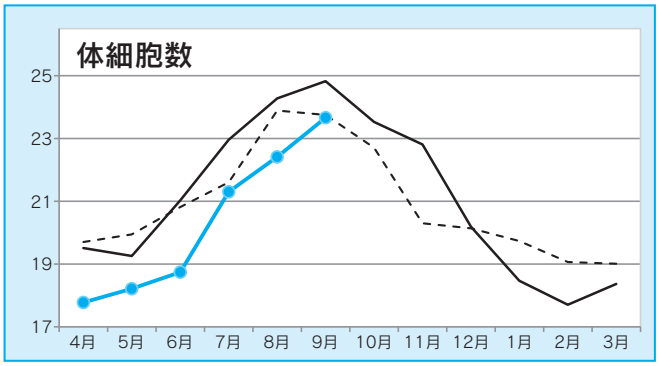
R5年度	8.85	8.83	8.82	8.72	8.70	8.70	8.82	8.93	8.95	8.92	8.89	8.91
R6年度	8.83	8.84	8.82	8.74	8.66	8.69	8.82	8.87	8.95	9.00	8.97	8.93
R7年度	8.91	8.88	8.86	8.80	8.77	8.74						

（単位：％）



R5年度	2.1	2.6	2.2	2.9	2.9	3.1	2.6	2.0	2.0	2.0	2.2	2.0
R6年度	2.2	2.0	2.5	3.1	2.9	4.4	2.6	2.9	2.5	2.7	2.3	2.5
R7年度	2.1	2.7	3.1	2.9	3.1	3.3						

（単位：万/ml）



R5年度	19.7	19.9	20.8	21.6	23.9	23.7	22.7	20.3	20.1	19.7	19.1	19.0
R6年度	19.5	19.3	21.0	23.0	24.3	24.8	23.5	22.8	20.2	18.5	17.7	18.4
R7年度	17.8	18.2	18.7	21.3	22.4	23.7						

（単位：万/ml）

令和7年度生乳品質共励会の途中経過について

令和7年度の生乳品質共励会の上半期終了時点の対象戸数は934戸（前年996戸）となっています。

今年度も厳しい暑さの夏となりましたが、乳質は高い品質を維持し、9月までの九州全体の平均点は443点（前年度401点）となり、前年度より42ポイント上昇しました。500点以上（年間で優良賞以上に該当）の生産者も公共施設等を含め209戸となり、前年度より大幅に増加しています。

生乳品質共励会では規模別の最高得点者3名に最優秀賞、成績上位30名程度の方々に優秀賞として、それぞれ賞金や副賞、良質な生乳生産管理技術の牧場としての証となるステンレスプレートが贈られることになっております。

また、今年度より要領を一部改正し、連続優秀賞者及び連続最優秀賞者（新設）の方々への賞金を増額しています。

生産規模により生産管理ポイントが異なりますが、正しい管理作業が実施されれば、生乳の品質は安定し、乳質評価基準のクリアに繋がります。

下半期も良質な生乳生産にご協力下さいますようお願いいたします。

令和7年度　県別得点分布（9月現在）

（単位：戸）

得点	累計	分布	分布比率	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県
600	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0
550～599	58	58	6.2%	8		3	34	5	6	2
500～549	209	151	16.2%	14	1	10	87	9	23	7
450～499	490	281	30.1%	38	8	23	119	16	51	26
400～449	700	210	22.5%	36	6	18	69	18	38	25
350～399	816	116	12.4%	16	6	15	32	12	17	18
300～349	894	78	8.4%	11	3	4	18		20	22
250～299	917	23	2.5%	5	2	2	3		5	6
200～249	929	12	1.3%	3		2	1		3	3
200未満	934	5	0.5%	1			1		2	1
対象酪農家戸数			934	132	26	77	364	60	165	110
平均点			443	432	414	433	468	454	432	401
前年度平均点			401	398	355	393	421	420	390	364

500点以上の戸数と比率

	今年度		前年度	
	戸数	比率	戸数	比率
福岡県	22戸	16.7%	12戸	8.6%
佐賀県	1戸	3.8%	0戸	0.0%
長崎県	13戸	16.9%	7戸	8.5%
熊本県	121戸	33.2%	52戸	13.4%
大分県	14戸	23.3%	10戸	15.4%
宮崎県	29戸	17.6%	10戸	5.6%
鹿児島県	9戸	8.2%	5戸	4.3%
全体	209戸	22.4%	96戸	9.6%

審査項目及び満点基準

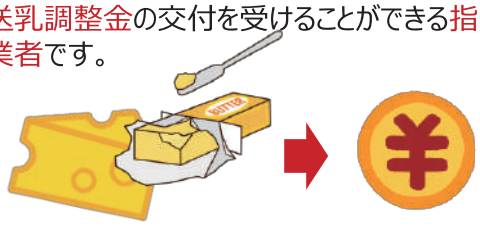
項目	満点基準
脂肪率	3.8%以上
無脂乳固形分率	8.7%以上
体細胞数	10万以下
細菌数	3万以下
氷点	-0.520℃未満

酪農家の皆様に知っていただきたい

指定団体を通して生乳を出荷するメリットってなに？

Merit 1 補給金がもらえる

指定団体は、加工原料乳生産者補給金と集送乳調整金の交付を受けることができる指定事業者です。



Merit 2 条件不利地も含めてあまねく集乳を行う

条件不利地にある牧場であっても、域内であれば集乳します。効率的な集送乳ラインとなるよう工夫し、集送乳経費やローリーの手配などを合理化することで、経費の削減に取り組んでいます。

Merit 3 価格交渉力が強い

乳業メーカーとの乳価交渉において、取り扱う生乳のシェアが多く、価格交渉力が強いです。また、指定団体が長年培ってきたデータや経験、乳業からの信頼などが指定団体の強みです。

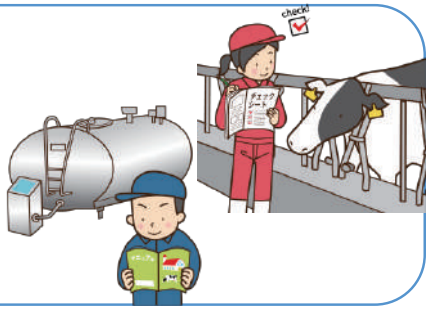
Merit 4 販売調整力が強い

複数の販売先と契約しているため、販売調整力が強く、有利かつ安定的に生乳を売り切ることができます。さらに、全国の指定団体・全国連で協力できるため、災害や需要の増減等に柔軟に対応しています。

Merit 5 安全安心を担保

チェックシートを配布し、記帳記録を推進するなど、生産者の皆さんが安全安心な生乳を出荷できる仕組みづくりを行っています。

また、各種検査を行い、指定団体が乳業者に生乳の安全安心を担保しています。



指定団体をご活用ください

個々では成しえないことも、皆で団結して課題を解決することで、

より有利で安定的な酪農経営を実現することができます。

そのお手伝いをするのが、指定団体です。

生乳取引契約を守りましょう

Q なぜ契約が必要なの？

A 契約は商取引の基本

生乳の販売先（事業者）との契約は、両者の合意に基づき成立するものであり、締結後は、契約当事者双方に守る義務が生じます。

A 生乳の安定供給のため

生乳は毎日生産されるものであり、安定的に牛乳・乳製品を消費者に供給するためには、年間を通じた契約に基づいて取引することが重要です。

Q 契約を破るとどうなるの？

A 自身や多くの関係者・消費者に不利益が波及

指定団体は、酪農家の皆様との契約をもとに乳業と契約を結んでいるため、当初の数量を出荷できなくなり、乳業者に不利益を与えてしまったり、消費者に安定的に牛乳・乳製品を届けることが難しくなってしまいます。

また、一般的に、契約を履行しなかった場合、損害賠償請求や契約の解除などを求められるケースもあります。

毎年生乳販売契約（覚書）の更新と共に、酪農家の皆様にご提出いただいている「生乳委託計画」も契約の一部です。委託数量を一方的に変動させることも契約違反となる可能性がありますので、ご注意ください。

一般社団法人 中央酪農会議
Japan Dairy Council

九州生乳販売農業協同組合連合会

酪農理解醸成・
牛乳消費拡大対策事業

お知らせとご報告

「ゴクッとモーニング！ミルクプロジェクト」実施中！

九州では朝食を食べない人が多いという調査結果を踏まえ、リョーユーパン・カルビー・AGFとタイアップし、牛乳と朝食を推進する「ゴクッとモーニング！ミルクプロジェクト」を実施中です。九州内のJRの駅でLL牛乳のサンプリングやSNS投稿キャンペーン等を実施しています。

タイアップ1　九州内のJR各県主要駅でLL牛乳やパン等の朝食セットの無償配布

JR九州の協力により、九州内のJR各県主要駅でサンプリングを実施しています。まず福岡県内での取組として10月27日にJR千早駅、29日にJR香椎駅、31日にJR折尾駅でLL牛乳・パン（マンハッタン）、フルグラ、チラシ等の朝食セットを各500個配布しました。

今後は、残り6県のJRの主要駅で実施予定となっております。

タイアップ2　LL牛乳やリョーユーパンとのコラボグッズプレゼントキャンペーンの実施

X（旧　Twitter）で「自分が好きな牛乳と合う朝食」や「牛乳を使った朝食レシピ」を投稿した方に抽選でLL牛乳やリョーユーパンとのコラボグッズが当たるキャンペーンを実施しました。

「ハッピーミルクフェスタin福岡2025」開催！

生活者へ日頃の牛乳愛飲の感謝を伝えるとともに、牛乳・乳製品の値上げが実施されている中、これからも変わりなく牛乳をご愛飲いただけるよう呼びかけるため、九州酪農青年女性会議、全国酪農業協同組合連合会、全国農業協同組合連合会等のご協力を得て、ららぽーと福岡で開催しました。

イベントフロアでは、九州各県の牛乳飲み比べ、牛乳と親和性の高い商品の試飲・試食等のブースに加え、Jミルクが推進している土日ミルクの各種コンテンツのブースも展開し、来場者に楽しんでもらいながら様々な牛乳の魅力を伝えることができました。

また、イベント開催中は会場内でリーフレット・チラシ・ミルメーク等の無償配布を行い、用意した2,000セットは好評のうちにすべて配り終えることができました。

左より　ステージMC　三角英恵さん、ゴリけんさん
九販連　中村会長、料理研究家　嘉村けんしさん

ゴリけんさんとクイズ参加者

実施日		令和7年11月8日(土)
会　場		ららぽーと福岡　メディアパーク
実施内容・実績	ステージイベント	牛乳料理トークショー(2回)、酪農・牛乳クイズ大会(2回)、牛の鳴き真似選手権(1回)、映画「ミルクのケビン」(1回)
	フロアイベント	酪農スタンプラリー(模擬搾乳・模擬哺乳・飼料展示)、バターづくり、学校栄養士のクイズ、POP・ポスター製作、コップづくり、パネル展示(酪農家の1日／九州産牛乳パック紹介、牛の体の仕組み)、ぬり絵、牛の着ぐるみ回遊、風船配布(600個)、骨密度測定コーナー
	牛乳無料試飲	九州各県の牛乳飲み比べ(ニシラク乳業㈱、雪印メグミルク㈱、永利牛乳㈱、㈱明治、江崎グリコ㈱、㈱ミラクル乳業、らくのうマザーズ、森永乳業㈱、九州乳業㈱、南日本酪農協同㈱、鹿児島県酪農乳業㈱)
	食品企業とのコラボレーション	無料試飲・試食(カルビー㈱:フルーツグラノーラ＋牛乳、カルピス㈱:牛乳割りカルピス、味の素AGF㈱:アイスカフェオレ)
	サンプリング	リーフレット・チラシ・フルグラボール・ブレンディスティック・ミルメーク　2,000セット

＼フォトギャラリー／

コラボ① カルピス㈱様

コラボ② カルビー㈱様

コラボ③ 味の素AGF㈱様

「令和7年度九州ミルク料理コンクール」開催のお知らせ

牛乳・乳製品料理への動機付け・定着化を図り、牛乳・乳製品の消費拡大に資することを目的に、昨年に続き第3回目となる牛乳・乳製品を利用した料理コンクールを開催します。コンクールを盛り上げ、牛乳・乳製品の料理への利用拡大につなげられるよう取り組みます。

■ **募集期間**

令和7年10月1日(水)～11月30日(日)(WEB)

■ **実技審査**

①開催日　令和8年2月21日(土)

②会　場　福岡ホテル･ウェディング＆製菓調理専門学校(福岡市博多区)

③審査員(予定)

- 本会代表者
- 濱中健一(福岡ホテル･ウェディング＆製菓調理専門学校副校長、前ホテルオークラJRハウステンボス製菓長等)
- 窪津朋生(リストランテKubotsu料理長)
- 山際千津恵(料理研究家)

イオン九州とのタイアップキャンペーンのお知らせ(1月上旬～2月上旬)

九州内のイオン及びイオン系列店舗で、キャンペーンの対象となる成分無調整牛乳を購入し、応募していただいた方の中から抽選で豪華賞品が当たるプレゼントキャンペーンを実施します。今回で6回目の実施となりますが、冬季の牛乳消費拡大につなげられるよう取り組みます。

牛乳川柳コンテストのお知らせ(1月上旬～2月上旬)

牛乳・酪農をお題にした川柳のコンテストをX（旧Twitter）にて実施します。投稿された川柳の中から「最優秀賞」「優秀賞」「入賞」を選び、それぞれの賞に応じた賞品をプレゼントします。酪農や牛乳を応援する機運を盛り上げられるよう取り組みます。

＼ 九販連公式ホームページ･SNSアカウントはこちら ／

ホームページ　https://kyuhanren.com/
Facebook　https://www.facebook.com/kyuhanren/
Instagram　https://www.instagram.com/kyusyulovemilkclub/
X(旧Twitter)　https://twitter.com/love_milk_club

新聞広告を掲載しました check!

『九州に酪農家がいるから、牛乳の鮮度は守られている。』

新聞を使った酪農理解醸成活動として、普段飲んでいる新鮮な牛乳は毎日働く九州の酪農家がいるから、ということを改めて訴求する新聞広告を掲載しました。

◆9月27日（土）掲載　令和6年度生乳品質共励会1部最優秀賞：長崎県雲仙市　松本牧場さん

酪農教育ファーム活動について

教育関係者のための酪農体験学習会及び現地会議を開催しました！

10月26日（日）、熊本県合志市の㈱オオヤブデイリーファームにて酪農体験学習会及び現地会議を開催しました。酪農教育ファームの教育的価値を訴求し、酪農産業の魅力発信・理解醸成に寄与することを目的として、九州各地の教育関係者に参加を呼びかけたものです。この日の参加者は熊本県、鹿児島県及び福岡県の教育関係者と家族をはじめ、交牧連会員牧場及び本会会員担当者など総勢41名に上りました。

まずは体験学習として搾乳・ブラッシング・牧場探検の各体験を行ったのち、現地会議と題して酪農の現状や酪農という仕事、生き物のいのちについて意見交換を行いました。

今回の開催では遠方からの参加者に配慮し、体験内容を限定して短時間での実施となりましたが、参加者アンケートでは、「酪農家の生の声、生き様を学ぶことができた」「明日の授業の始まりに、この体験で感じたことを子どもたちに伝えます」などの言葉をいただきました。教育現場での酪農体験学習に繋げていけるよう、引き続き努めてまいります。

まずは搾り方講座から

心をこめてブラッシング

搾った生乳の温かさにびっくり

青空のもと、酪農家の話に耳を傾けます